

2024年5月13日

各位

会社名 株式会社 大林組
 代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 蓮輪 賢治
 (コード:1802、東証プライム、福証)
 問合せ先 本社経理部長 高田 佳明
 (TEL 03 - 5769 - 1701)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年3月31日を基準日とする剰余金の配当について、2024年6月27日に開催予定の第120回定時株主総会に下記のとおり付議することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2024年3月4日公表)	前期実績 (2023年3月期)
基 準 日	2024年3月31日	2024年3月31日	2023年3月31日
1株当たり配当金	54円00銭	51円00銭	21円00銭
配当金総額	38,768百万円	—	15,078百万円
効力発生日	2024年6月28日	—	2023年6月29日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、本年3月4日に適時開示 ([「配当方針の変更及び配当予想の修正\(増配\)に関するお知らせ」](#)) したとおり、配当方針の見直しを行い、年間配当金の目安を「自己資本配当率(DOE)3%程度」から「自己資本配当率(DOE)5%程度」に変更しております。

この方針のもと、期末配当金を1株当たり54円(3月4日公表の配当予想から3円の増額)とする予定です。これにより、中間配当金21円を加えた年間配当金は、1株当たり75円(連結配当性向71.6%、前期比33円増額)となります。

以 上

(ご参考)

1. 当社の配当方針

当社は、企業価値の向上に向けて、建設産業の担い手減少が見込まれる中で、安全と品質を最優先に建設業の社会的使命を果たし続けるため、人材・DX・技術への投資や生産力拡充のための投資を強化し持続可能な利益を創出するとともに、競争優位を確立できる領域において機会を捉えた成長投資等を積極的に実行し利益の拡大を図ります。資本効率性の向上の観点から、建設事業及び関連する当社グループの事業の成長に合わせ、事業毎の投下資本を設定し、各事業の資本構成を

検討したうえで自己資本の必要額を設定し、戦略的な株主還元を実施します。

普通配当については、長期安定配当の維持を第一に、「自己資本配当率（DOE）5%程度」を目安とした配当を行う方針としております。

<参考：「自己資本配当率（DOE）5%程度」に基づく普通配当>

$DOE 5\% = \{(\text{前期末自己資本} + \text{当期末自己資本}) \div 2\} \times 5\% \rightarrow \text{普通配当総額（中間+期末）の目安}$

また、普通配当に加え、特別配当や自己株式取得などの手法により、必要自己資本額と利益の状況に応じて株主還元を機動的に実施いたします。（当社グループの収益力や財務状況、株価純資産倍率（PBR）等を勘案して総合的に判断します。）

なお、利益水準の中長期的な改善傾向に合わせて自己資本配当率（DOE）の目安は見直してまいります。

2. 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2024年3月期	21円00銭	54円00銭	75円00銭
前期実績(2023年3月期)	21円00銭	21円00銭	42円00銭